

# 商工労働企業委員会 県内所管事務調査の概要

【平成29年5月9日（火）】

## ◆調査箇所：西部振興局、日田高等技術専門校

＜概要＞

西部振興局及び日田高等技術専門校から、管内の状況、商工労働企業委員会に係る企業立地、商工業の振興、観光の振興、地域振興、職業訓練の状況など所管事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・中継点としての企業誘致等の戦略について
- ・東九州自動車道開通による観光産業への影響について
- ・建築科廃止に係るその後の対応について

## ◆調査箇所：九州ジージーシー(株)（日田市大字夜明）

＜概要＞

平成2年に会社設立。同年3月大分県竹田市において竹田工場稼働、平成23年3月に日田工場稼働するなど順調に拠点の拡大を行っている。

事業内容としては、水耕栽培及び野菜加工等を中心に原料・水・鮮度にこだわった商品の製造販売を行っており、特に「もやし」については、日田の良質な水を使用、低温育成、効率的な生産システムの確立等により鮮度の高い製品の提供をしている。



＜主な質疑等＞

- ・業界全体としての今後の動きについて
- ・機械化の構想について

## ◆調査箇所：(株)ティーアンドエスおおいた（日田市淡窓）

＜概要＞

平成2年に会社設立。本社は東京。事業内容としては事業モデル企画・開発・運営、業務コンサルティングなど。主な取引先として(株)NTTデータ、ソフトバンク(株)などがあり、大分県のUIJターン人材及び地元出身者雇用の受け皿として期待される。



＜主な質疑等＞

- ・日田・玖珠出身の業務経験者の募集について
- ・専門学校の設立について
- ・雇用の考え方について

#### ◆調査箇所：日田旅館組合（日田市隈）

##### <概要>

日田市内の14軒の旅館が登録。古くから「水郷」と呼ばれるほど水資源に恵まれた中で、各旅館それぞれの趣向が凝らされており、屋台船での夕食や鵜飼いを楽しめるなどが特徴。また、昔より子宝温泉としても親しまれている。



##### <主な質疑等>

- ・インバウンドの状況について
- ・SNSを使った情報発信について
- ・県境を越えた取組について

#### 【平成29年5月10日（水）】

#### ◆調査箇所：カネク大分(株)（中津市大字大新田）

##### <概要>

昭和28年に会社設立。本社は東京。事業内容としては、粉わさび、おろしわさびなどの寿司関連食品の製造販売。わさびの伝統・技術を継承しながらFSSC22000認証を取得するなど製品の安全・安心性の向上に努めている。また、基礎研究や新商品開発等により今後グローバルな展開も期待されるところである。



##### <主な質疑等>

- ・かぼすの加工について
- ・人材確保の見通しについて

#### ◆調査箇所：北部振興局、大分県立工科短期大学校

##### <概要>

北部振興局及び工科短期大学校から、管内の状況、商工労働企業委員会に係る企業立地、商工業の振興、職業訓練の状況など所管事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



##### <主な質疑等>

- ・六郷満山や市町村との連携を踏まえた広域観光の方針について
- ・電気自動車への対応について
- ・3Dプリンターを扱う技術へのニーズについて

◆調査箇所：(株)日豊ケアサービス（豊後高田市新地）

<概要>

平成10年に会社設立。県北地域において介護・福祉事業を展開しており、平成22年度には大分県仕事と子育て両立支援モデル企業に認定、さらに、平成28年度にはプラチナくるみん認定（県内初・唯一）を受けている。また、平成28年度には内閣府「子供と家族・若者応援団表彰」子育て・家族支援部門内閣府特命担当大臣表彰を受けている。



<主な質疑等>

- ・企業戦略としての施設拡充や雇用確保などの年次計画や経営方針等について
- ・離職率改善に向けての取組について

◆調査箇所：(株)FTS九州（宇佐市大字猿渡）

<概要>

平成27年に設立。(株)FTSの100%子会社。事業内容としては、最新鋭の設備により樹脂製燃料タンク（ダイハツ九州(株)向け）等の生産を行っている。

開発から製造までを行える燃料系総合サプライヤーである。



<主な質疑等>

- ・製造工程の自動化について
- ・系列を越えた事業展開について

【平成29年5月15日（月）】

◆調査箇所：杵築ブランド推進協議会（杵築市杵築）・(有)中野酒造（杵築市南杵築）

<概要>

協議会は、杵築市の豊かな自然、文化、歴史を背景とした杵築ブランドを確立するとともに、その魅力を戦略的に情報発信し、地域経済の活性化を図るために設置。主に「杵築ブランド」の認定や事業者を対象としたセミナー・商談会・販売会等を実施。

中野酒造は、明治7年創業以来、水、米、造り手の心にこだわり140年にわたり製造。仕込み水として地下200mより湧き出した六郷満山の御霊水を使用。杵築ブランド第1回認定品として「智恵美人」が認定。



<主な質疑等>

- ・首都圏における発信拠点の坐来の活用について
- ・価格決定に係る戦略について

#### ◆調査箇所：東部振興局

##### <概要>

東部振興局から、管内の状況、商工労働企業委員会に係る企業立地、商工業の振興など概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



##### <主な質疑等>

- ・ 姫島ジオパーク再認定に向けた取組について
- ・ 農家戸数について
- ・ 日出町の人口増加の要因について

#### ◆調査箇所：国東市商工会（国東市国東町鶴川）

##### <概要>

平成24年度に市内4商工会（国見町、国東町、武蔵町、安岐町）が合併して設立。経営改善、記帳・税務・金融・労務といった基礎的な経営支援、経営計画の策定など積極的に企業の支援を行う。また、主な取組として伴走型補助金による小規模企業の活性化や「国東おみや」の開発など商工会員による土産品開発事業などがある。



##### <主な質疑等>

- ・ 事業承継の状況について
- ・ 商工会合併に係る課題等について
- ・ 「伴走型」の認定基準について

#### ◆調査箇所：大分県立竹工芸訓練センター

##### <概要>

新規学卒者や離転職者・一般求職者に対し、伝統的工芸品としての竹工芸の後継者育成等に取り組む職業能力開発校。竹産業の振興に関する支援も行っている。

竹工芸科は平成25年4月に2年制に移行。竹工芸品の製作に関する、竹材の材料加工・各種編組技術・染色・塗装技術を学び、現代社会のニーズに対応した竹製品を製作する技術と販売まで行える知識が習得できる。



##### <主な質疑等>

- ・ 推薦入試について
- ・ インキュベーション入居者について

【平成29年5月25日（木）】

◆調査箇所：企業局判田浄水場（大分市下判田）

＜概要＞

大野川から取水した水を、判田・大津留の各浄水場で浄化し、大分市内の各企業に工業用水として供給している。併せて、大分市水道事業と連携した業務を行うことにより、大分市の横尾浄水場に上水道の原水も送水している。



＜主な質疑等＞

- ・工業用水の需要への対応について
- ・工業用水の料金設定について

◆調査箇所：中央化学(株)九州工場（豊後大野市千歳町下山）

＜概要＞

本社は埼玉県、昭和32年に創業したプラスチック食品容器メーカーである。

社会構造の変化やライフスタイルが多様化する中、「素材選択」、「安全・安心」、「製品開発」及び「環境対応」をコンセプトに製品開発を戦略的に進めている。



＜主な質疑等＞

- ・工場見学の受入れについて
- ・人手不足について
- ・従業員の配置について

◆調査箇所：豊肥振興局

＜概要＞

豊肥振興局から、管内の状況、商工労働企業委員会に係る企業立地、商工業の振興など概要説明を受けた。

また、平成29年5月豊後大野市朝地町綿田地区における地割れについての説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・中九州自動車道開通による物流や人の流れについて
- ・ユネスコパークの活用について
- ・小規模集落対策について

◆調査箇所：まちづくりたけた（株）（竹田市竹田）

<概要>

第3セクターのまちづくり会社として設立。  
主な業務内容は、「中心市街地の活性化」、「観光宣伝・市街PR・市内PR」及び「U・Iターン定住促進」に関すること。若いスタッフを中心に事業所の支援を行っている。



<主な質疑等>

- ・ゲストハウスについて

◆調査箇所：（株）姫野一郎商店（竹田市会々）

<概要>

明治10年創業の椎茸問屋。取扱商品は干し椎茸、梅干など。主な販売先として九州ではトキハデパート、関東では伊勢丹など。生産者と信頼関係を築きながら「安全・安心」な大分県産100%の椎茸にこだわり、世界に目を向けた新しい取組にも挑戦している老舗問屋である。



<主な質疑等>

- ・乾し椎茸の販路拡大について
- ・乾し椎茸の生産者減少について
- ・今後の事業展開について

【平成29年5月26日（金）】

◆調査箇所：高橋水産（株）（佐伯市米水津）

<概要>

昭和55年創業。豊後水道の四季折々の天然の魚を素材として、鮮度にこだわり、伝統的な匠の技や近代的な低温乾燥技術・衛生検査体制により安全・安心な商品を提供している。



<主な質疑等>

- ・原材料の調達について
- ・「海の市場〇」について

◆調査箇所：南部振興局、佐伯高等技術専門校

<概要>

南部振興局及び佐伯高等技術専門校から、管内の状況、商工労働企業委員会に係る企業立地、商工業の振興、職業訓練の状況など概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・入校率を上げるための対策について
- ・卒業生の就職状況について

◆調査箇所：イーレックスニューエナジー（株）佐伯発電所（佐伯市戸穴）

<概要>

新電力大手イーレックス子会社のイーレックスニューエナジー佐伯が運営するバイオマス発電所。パームヤシ殻を主な燃料とする木質バイオマス発電所で、出力は国内最大級となる5万KW、年間売電量は約31万5,000MWHを見込む。また、FIT制度（固定価格買取制度）にも積極的に取り組む。



<主な質疑等>

- ・電気の買取り価格について

【平成29年6月1日（木）

◆調査箇所：中部振興局

<概要>

中部振興局から、管内の状況、商工労働企業委員会に係る企業立地、商工業の振興など所管事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・商店街の回遊について
- ・観光施策の連携戦略について

#### ◆調査箇所：大分高等技術専門校

##### <概要>

新規学卒者や離転職者・一般求職者に対し、職業に関する知識や技能を習得させる県立職業能力開発校。2年制訓練のメカトロニクス科、1年制訓練の電気設備科、自動車整備科、空調配管システム科、木造建築科の5科を設置し、ものづくり産業の発展に寄与する人材育成を行っている。

訓練生の就職支援にも力を入れており、独自の取組として、平成26年度から毎年8月に地場企業の協力の下、合同企業説明会を企画・開催している。



##### <主な質疑等>

- ・追加募集について
- ・自動車整備科の今後のビジョンについて

#### ◆調査箇所：おおいた留学生ビジネスセンター（別府市京町）

##### <概要>

人口あたり留学生数日本一である本県の優位性を生かし、グローバル人材である優秀な留学生の卒業後の県内定着を図るため平成28年10月に開設。事業内容としては、専門スタッフによる個別指導、定期相談会、セミナー等の実施及び県内企業との交流会の開催。



##### <主な質疑等>

- ・留学生の就職及び離職状況について
- ・留学生の起業意識について

#### ◆調査箇所：(株)Huber（別府市京町）

##### <概要>

平成27年4月に設立。本社は神奈川県鎌倉市。事業内容は、訪日外国人向け観光ガイドサービス。ネットを通じて訪日外国人と国際交流を望む大学生をマッチングし、自由度の高いローカルな旅を提供。



##### <主な質疑等>

- ・ガイド数及び利用者数・利用件数について
- ・サービス提供時期について



#### ◆調査箇所：大分エコセンター（株）（大分市三佐）

##### <概要>

昭和9年に創業。県内最大規模の広さを誇る総合リサイクルセンター。事業内容としては、金属から廃タイヤ、廃プラスチック等の未利用資源の受入れ及びセメント、製鉄、バイオマス発電所等への「エコ燃料」の供給。また、廃棄物に付加価値を与えて新しい形態の商品に再生するという「アップサイクル」に取り組み、第11回大分県ビジネスグランプリで奨励賞を受賞。



##### <主な質疑等>

- ・リサイクル産業からの転換としてのTeamの活動について
- ・国民文化祭及び障害者芸術・文化祭との連携について

#### ◆調査箇所：大分岡病院（大分市西鶴崎）

##### <概要>

昭和29年5月に医院として開設、その後病院に改組し、地域医療に取り組む。

子育てを行う労働者の職業生活と家庭生活との両立を支援するための雇用環境の整備、働き方の見直しに対する多様な労働条件の整備を行っている。また、財団法人21世紀職業財団より「男性の育児参加促進事業実施事業主」として指定されており、女性だけでなく男性も育児に参加しやすい職場づくりに向けた取組も行っている。



##### <主な質疑等>

- ・病児保育について
- ・ダイバーシティ学会の参加要件について

#### 【平成29年6月2日（金）

#### ◆調査箇所：（株）モアモスト（大分市中央町）

##### <概要>

IT企業として平成23年9月設立。事業内容は主にWEB等の受託開発。創業者自身がUターン者で、移住者が集えるコミュニティ等多様な活動を展開している。



##### <主な質疑等>

- ・社員の構成について
- ・働き方改革について

#### ◆調査箇所：大分県産業科学技術センター

<概要>

県内企業のものづくり活動に対する総合支援・研究機関。ものづくり活動において企業が抱える技術課題に対応するため、技術相談の対応を業務の基本に据え、依頼試験や機器貸付、企業ニーズに基づく共同研究等により迅速な課題解決に取り組んでいる。また企業人材の専門知識習得を目的とした技術研修を実施し、企業の競争力強化を支援している。



<主な質疑等>

- ・人材確保対策について
- ・ドローンの西日本の拠点化の見通しについて

#### ◆調査箇所：西日本クロノス（株）（大分市高江西）

<概要>

事業内容としては、産業用ドローン（無人機）の開発、製造及び販売や産業用ドローンの教習スクールを開講。また、小学校でドローン体験教室を開講するなどドローンの普及啓発に取り組む。



<主な質疑等>

- ・実技講習について
- ・ドローンの基本性能について

#### ◆調査箇所：企業組合戸次ごんぼの会（大分市下戸次）

<概要>

会員数14名、平均年齢69歳の女性グループにより平成27年6月に設立。翌平成28年4月に新たな加工所兼店舗をオープン。事業内容としては、戸次特産のゴボウを使った加工品の製造販売。



<主な質疑等>

- ・ごぼまんの総売上等について
- ・今後の事業展開について

◆調査箇所：トランスコスモス（株）MCMセンターおおいた（大分市中央町）

<概要>

昭和41年創業。本社は東京。アウトソーシングの大手トランスコスモス社の大分事業所。事業内容は、マルチコンタクトコミュニケーションサービス（電話、チャット、LINE、メッセージングアプリなどを利用したコミュニケーション対応）。県が推進するBPO誘致（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）。平成29年度までに300名の採用を予定。



<主な質疑等>

- ・コールセンターの業務について
- ・働き方改革についての取組について